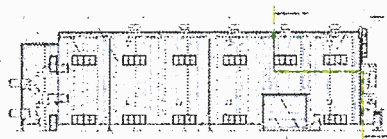


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吉田鋼業株式会社 京田辺	階数	地上2F
建設地	京都府京田辺大住池島28番	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	15人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,960時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2016年11月29日
敷地面積	2,360㎡	作成者	株式会社大林組大阪本店
建築面積	1,405㎡	確認日	
延床面積	2,664㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
省エネ、省資源、緑化に可能な限り取り組むとともに、維持管理や空間のゆとりなどサービス性にも配慮した計画としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境に配慮している。	耐久性の高い配管材用を採用し、維持管理に配慮している。また、高さや広さ等ゆとりある空間を確保している。	道路沿いのフェンスの壁面を緑化し、屋外の環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ性に配慮し、LED照明を全面的に採用、また、太陽光発電も採用している。	自動水栓の採用、リサイクル建材の使用等、省資源に配慮している。	敷地内はじゅうぶんな空気を確保し、駐車スペースや荷物置きスペースを設ける等、地域や周辺の環境に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される